



「福井市一乗谷朝倉氏遺跡と越前市紫式部ゆかりの地を訪ねる」

日 時 2021 年 11 月 4 日 (木)

集 合 JR 島本駅 8 時 阪急水無瀬駅 8 時 10 分

参加者 23 人

行 程 8 時 25 分大山崎 IC・・・9 時 10 分黒丸 P・・・10 時 25 分杉津 P・・・

11 時 15 分福井 IC・・・11 時 30 分一乗谷レストラン (昼食)

12 時 15 分～14 時 15 分徒歩にて朝倉氏遺跡を散策

散策内容～レストラン前駐車場⇒平面復原地区⇒復原町並⇒上城戸⇒諏訪
館跡庭園⇒湯殿跡庭園⇒朝倉館跡⇒瓜破清水⇒レストラン前
駐車場

14 時 20 分レストラン前駐車場出発・・・15 時 10 分～15 時 45 分紫式部公園と紫ゆかりの館見学・・・

15 時 50 分武生 IC・・・16 時 40 分賤ヶ岳 P・・・18 時 15 分大山崎 IC・・・

18 時 25 分阪急水無瀬駅解散・・・18 時 35 分 JR 島本駅解散

参加費 2000 円+各自の昼食代



2021 年度、4 月 1 日 (木) の「又兵衛桜」のバスツアーに次いで、2 度目のバスツアーであった。

天気も良く、最高の見学日和だった。大型バスで、前後の座席も広々として、2 人掛けのイスに 1 人ずつ座ることが出来、快適なバス旅だった。途中、福嶋さんからその場その場で丁寧な説明があり、沢山の学びがあった。

一乗谷レストランでは、お待ちかねの昼食。前もって自分が食べたいメニューを決めていたが、どんな料理が出てくるか楽しみであった。 イヤー「美味しかった」

昼食の後は、皆で歩いて朝倉氏遺跡を見学した。

遺跡には当主の館である本館をはじめ、朝倉氏一族・重臣の居館群、中下層の武家屋敷、町家および神社、仏閣の跡が見られる。朝倉氏の遺跡がある一乗谷は、福井市の郊外の足羽川支流一乗谷川の狭長な谷に、1471 年朝倉孝景がここに築城してから、1573 年義景が織田信長に滅ぼされるまでの約 100 年、越前守護朝倉氏 5 代の本拠地であった。戦国期の重要な遺構である遺跡には当主の館である本館をはじめ、朝倉氏一族・重臣の居館群、中下層の武家屋敷、町家および神社、仏閣の跡が見られる。



一軒に一つの井戸



現在にも通じる便所

印象に残ったのは、一軒に 1 つ井戸があったり、便所と思われる跡があったりしたことである。また、家屋の柱がなるべく腐らないように、基礎となる石が使われるなど、工夫の後も見られることである。



復元された町並み



朝倉氏館 唐門

一乗谷朝倉氏の遺跡見学の後は、バスで北陸自動車道・福井ICから武生IC間を走り「紫式部公園」と、「紫ゆかりの館」を見学した。

紫式部公園には、金色に光る紫式部の像が印象的であった。「紫ゆかりの館」では、源氏物語を書いた、紫式部



紫式部像



日野山と公園の寝殿造り池苑

のビデオを見たり、館内を散策したりした。そこで、科のメンバー福嶋さんの著書「源氏物語」（紫式部と越前たけふ）を発見。森海で1冊購入した。早く輪読したい。 実に有意義なバスツアーであった。